

令和3年度事業計画及び 歳入歳出予算の概要

一般会計



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

岐阜県支部

令和3年度の主な事業計画

(1) 新型コロナウイルス感染症への対応

災害救護活動、講習事業など事業実施にあたっては、感染予防策を徹底するとともに、新型コロナ感染症に対する医療提供体制の充実を図るため、高山赤十字病院及び岐阜赤十字病院に対し、新型コロナ感染症病院支援交付金を交付する。また、同感染症を正しく理解し、感染予防や差別、偏見をなくすための啓発活動を行う。

(2) 地区分区等への救護資機材配備（事業計画書P.4）【災害救護事業費】

災害救護体制の充実強化事業の一環として、地区分区に対し災害救援車4台（3地区、1分区）、災害用炊飯器11台（2地区、2分区）、天幕11張（2地区）及び災害備蓄倉庫2棟（1地区、1分区）の更新配備を行うほか、経年劣化に伴い高山赤十字病院の救急車を更新する。また、地区分区に配備しているAED（全41台）について、保証期間満了に伴う更新を令和4年度にかけて行うこととし、令和3年度は18台（18地区）を更新する。

(3) 災害対応能力向上のための人材育成や訓練等への参加

（事業計画書P.5,6）【災害救護事業費】

県内赤十字施設合同災害救護訓練、日赤第3ブロック支部（愛知、岐阜、三重、静岡、長野、富山、石川、福井）合同災害救護訓練や研修の実施、災害医療コーディネーターの育成など有事の際に即応できる人材の育成や資質の向上、体制強化を図る。

令和3年度の主な事業計画

(4) 平時からの防災・減災への備え（事業計画書P.5） 【災害救護事業費】

自治会や住民グループ等を対象に「赤十字防災セミナー」や「災害図上訓練」などの講習を開催し、地域社会へ防災・減災の知識や技術の普及に努める。

(5) 看護師を目指す学生への奨学金の支給（事業計画書P.9） 【災害救護事業費】

優秀な看護師を養成するため、日本赤十字豊田看護大学において赤十字特別推薦選抜制度を利用し学業に励む14名の学生に対し奨学金を支給する。

(6) 青少年赤十字（JRC）活動の活性化（事業計画書P.7,8） 【社会活動費】

研究推進モニター校25校、防災教育推進校2校を指定し活動の活性化を図るほか、子ども新聞プロジェクト、モンゴル国青少年赤十字との交流事業を行う。また、防災対策強化のためのワンタッチテントを新規加盟校31校に整備し、青少年赤十字活動の普及と加盟促進を図る。

(7) 青少年赤十字100周年事業の推進（事業計画書P.8） 【社会活動費】

青少年赤十字創立100周年（令和4年度）に向け、青少年赤十字100周年事業推進校を5校指定し、100周年事業に関わる活動の支援を行う。

令和3年度の主な事業計画

(8) 講習普及事業の充実強化（事業計画書P.9） 【社会活動費】

飛騨地域における救急法講習の普及拡大と水の事故防止を学ぶ水上安全法講習の普及推進のために、講習の普及を行うボランティア指導員の養成講習を高山市等で開催し、命と健康を守る赤十字講習の充実強化を図る。

(9) 国際活動の推進（事業計画書P.10） 【国際活動費】

第3ブロック支部合同救援事業として、アジア・大洋州給水・衛生キット支援事業、シリア難民支援事業、東アフリカ地域3カ国地域保健強化事業へ2,300千円の資金拠出を行うほか、国際赤十字の一員として国際救援活動を行う職員の養成と派遣に取り組む。

(10) 積極的な広報の展開（事業計画書P.10） 【社業振興費】

5月の赤十字活動月間において、JR岐阜駅前の大型商業用モニターを使用した広報やテレビCMの拡充を図る。また、新たに全国統一会員誌を発刊し、従来の県内全戸配布広報誌と併せ会員の皆様に定期的な情報提供を行うほか、ホームページのリニューアルを行い、より新しい情報を広く県民の皆様へ周知し、赤十字へのご理解を深めていただくよう取り組む。

令和3年度歳入歳出予算状況

(単位:千円)

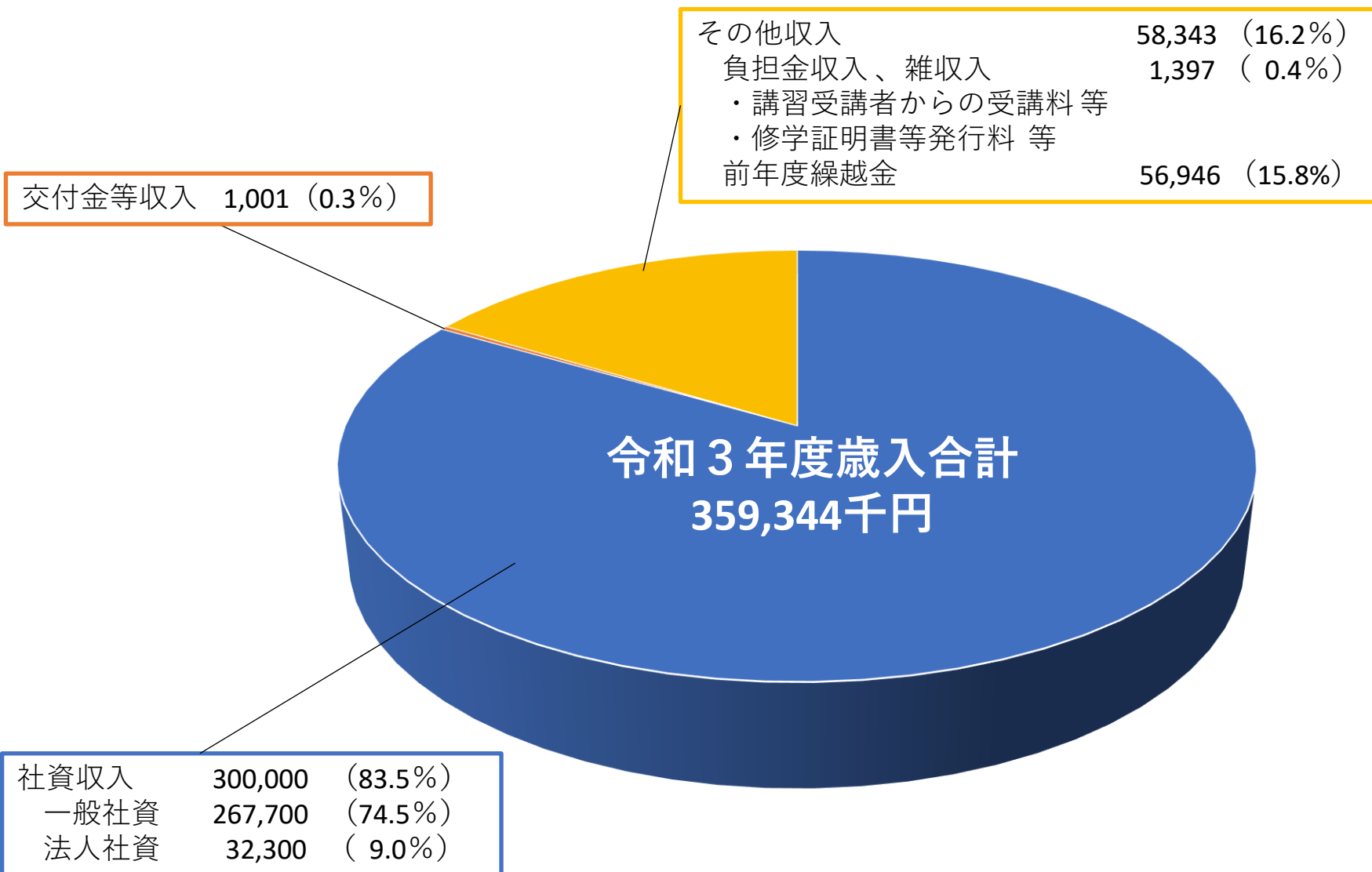
	区分	R3年度予算	R2年度予算	増減額 (R3 - R2)		増減理由 説明No.
歳入		359,344	338,200	21,144	6.3%	
	社資収入	300,000	300,000	0	0.0%	
	補助金及び交付金収入	1,001	675	326	48.3%	
	繰入金収入	0	5,000	△ 5,000	皆減	①
	雑収入	1,397	1,364	33	2.4%	
	前年度繰越金	56,946	31,161	25,785	82.7%	②
歳出		359,344	338,200	21,144	6.3%	
	災害救護事業費	48,780	44,767	4,013	9.0%	③
	社会活動費	65,150	67,145	△ 1,995	△ 3.0%	④
	国際活動費	2,390	2,404	△ 14	△ 0.6%	
	指定事業地方振興費	7,700	6,700	1,000	15.0%	⑤
	地区区分交付金支出	50,074	50,466	△ 392	△ 0.8%	
	社業振興費	44,326	44,469	△ 143	△ 0.3%	
	基盤整備交付金・補助金支出	10,159	7,252	2,907	40.1%	⑥
	積立金支出	28,646	17,121	11,525	67.3%	⑦
	総務管理費	53,652	48,334	5,318	11.0%	⑧
	資産取得及び資産管理費	4,122	4,912	△ 790	△ 16.1%	
	本社送納金支出	42,345	42,630	△ 285	△ 0.7%	
	予備費	2,000	2,000	0	0.0%	

令和２年度予算額との主な増減の理由

	No.	区分	理由
歳入	①	繰入金収入	前年度繰越金の増により、基金からの繰り入れを行わないことによる減
	②	前年度繰越金	新型コロナウイルス感染症の影響による事業見直しにより、前年度において不用額が増えたことによる増
歳出	③	災害救護事業費	地区分区に配備する車両、炊飯器、倉庫、AEDなどの資機材や高山赤十字病院へ配備する救急車の増（車両：救急車含 4台→5台、災害用移動炊飯器9台→11台、災害備蓄倉庫1棟→2棟、AED 18台）
	④	社会活動費	J R C加盟校へのワンタッチテント配備数の減による事業費の減（51張→31張）
	⑤	指定事業地方振興費	地区分区に配備する車両購入に対する指定寄付額の増
	⑥	基盤整備交付金・補助金支出	高山・岐阜赤十字病院への新型コロナウイルス感染症病院支援交付金の新設による増
	⑦	積立金支出	次年度以降の事業に備えるため、災害等資金積立金への積み立てを行うことによる増
	⑧	総務管理費	会計システム及び会員管理システム更新にかかる本社への負担金支出等の増

日本赤十字社岐阜県支部歳入予算状況

単位：千円
() 内は、歳入総額に占める割合



日本赤十字社岐阜県支部歳出予算状況

単位：千円

() 内は、歳出総額に占める割合

本社送納金 42,345 (11.8%)
・全国規模で行う赤十字活動への経費

その他支出 84,298 (23.5%)
積立金支出 28,646 (8.0%)
・災害等資金、施設整備、職員退職金にかかる積立金
総務管理費 53,652 (14.9%)
・評議員会、監査にかかる経費
・一般管理業務にかかる経費 等
予備費 2,000 (0.6%)

災害救護事業費 48,780 (13.6%)
・救護活動や訓練の経費、災害救護装備
や地区 分区の救護資機材等の整備費用
・豊田看護大学奨学生への奨学金 等

社会活動費 65,150 (18.1%)
・各種講習実施のための経費
・奉仕団、ボランティア、J R C の研修、
育成費、活動にかかる助成金
・J R C へのワンタッチテント整備費 等

国際活動費 2,390 (0.7%)
・開発途上国の保健衛生事業や紛争救
援事業等への資金拠出 等

指定事業地方振興費 7,700 (2.1%)
・個人住民税控除適用寄付金を財源と
して行う設備等の整備費 等

地区分区交付金 50,074 (13.9%)
・地域での赤十字活動を行う地区分区に
対する 交付金

社業振興費 44,326 (12.4%)
・会員制度の普及啓発、会費の募集、功労者
への表彰に係る経費
・赤十字事業の広報、宣伝等にかかる経費 等

基盤整備交付金補助金 10,159 (2.8%)
・医療施設や血液センターに対する交
付金

資産取得及び資産管理費 4,122 (1.1%)
・施設のメンテナンス等の経費 等

